



# ResorTech EXPO 2023 in Okinawa

## レポート Report

沖縄で年に1回開催される県内最大のDX・ITの展示会「ResorTech EXPO」が、2023年11月9日・10日の2日間に開催されました。本会場の沖縄アリーナに加えて、今回からサブ会場としてホテル専門のソリューションベンチャーであるタップが、宿泊業界向けの実証実験施設として建築したタップホスピタリティラボ沖縄 (THL) が選ばれました。本稿ではTHLの紹介とTHLで行われた展示についてレポートします。



### TAP Hospitality Lab®(THL) について

THLは沖縄県が国内外の情報通信関連産業の一大拠点プロジェクトを担っているうるま市のIT津梁パーク内に、2023年にオープンした宿泊業界向けの実証実験施設となります。自動車と言えば新しい車種を開発したときに行うテストコースにあたる、事前に新しいサービスや機器の有用性や安全性を確認できる場所が、今まで宿泊業界にはありませんでした。その課題の解決に向けてホテルシステムを扱うタップが建築したのがTHLになります。

#### 概要

THLは一般的な宿泊施設にある、客室・レストラン・売店・ホールなどを備えた実証実験施設となっております。一般的施設への導入を想定した実証実験を行うため、建物の表向きは一般施設と大きく変わりませんが、裏では様々な実証実験を想定した仕組みが建築時の設計から多数考慮されております。その基盤を利用して日々様々な実証実験を「各技術メーカー ×タップ」で実施しております。今回の展示会では、その取り組みについて館内の各所で展示しました。

#### THL アプリについて

前提としてTHLは基本的に宿泊者を含む来館者はスマートフォンのアプリをご利用いただく運用となっております。来館者は自身のアプリで館内の様々なサービスを受けることが可能となっております。各エリアでのアプリの利用で受けられるサービスについても合わせてご紹介します。



普段は国や地方自治体を始め、宿泊業界関係者や協業企業関連の方、学生が見学されることが多い施設ですが、本展示会では様々な業種の方にご見学いただくことで様々な観点からのご意見・ご感想をいただくことが出来ました。ご感想の中には、沖縄県にこの規模の実証実験施設があることへの驚きや、普段はゲストとしてTHLに来館しても見られないロボットステーション、レストランの運用、統合監視センターの姿について興味を持つ機会になったとのことがありました。

展示会ではTHLに拠点を持つ沖縄観光DX推進機構 (OTDO) を中心に、タップ及び関連企業による展示を行いました。OTDOは今後も観光DX推進による持続可能で質の高い観光体験の実現に貢献していきます。

## ENTRANCE



フロントは宿泊者がTHLアプリでチェックインすること前提とした無人対応の設計と、セルフでカードキーの発行や館内で利用できる静脈認証の登録が可能です。

## RESTAURANT



THLアプリからのゲスト自身のモバイルオーダーを起点とした食事の提供、アームロボット及び配送ロボットによるドリンクの自動提供の実証実験を実施しております。

食事の提供に関してはロボットによる業務効率化だけでなく、知的障がい者の働きやすさをサポートするシステムの構築も進めており、障がい者雇用の促進も実証実験のテーマとなっております。

## ROBOT STATION

ロボットステーション

人材不足が深刻化する宿泊業界においてもロボットの役割・台数は増えていくと予想されます。未来のホテルでは当たり前になっているであろうロボットの待機場所 (充電ステーション) が用意されています。

## NEXT GENERATION STORE

次世代店舗

イオン琉球と提携した県内最大の無人店舗として、ホテルシステムとの連携も見据えた次世代店舗の開発を行っています。

## GUEST ROOM

客室



鍵の構成が通常とは異なり、様々な認証システムと連携した解錠が可能、かつ、認証機器も手軽に取り付けられる設計となっております。それにより現在検証中の顔認証や静脈認証、QRコード認証だけでなく、将来新たに登場する認証機器へも素早く対応が可能です。

ドアは一部の部屋がロボットとの連携を考慮した自動ドアとなっております。ロボットはエレベーターとも連携しますので、1Fのレストランから客室までロボットが自動でルームサービスを行うことも可能となっております。

在不在やCO<sub>2</sub>などのセンサーも多種設置されており、統合監視センターと連携することで新しいサービス検証のためのデータ収集などを行っております。

## MONITORING CENTER

統合監視センター

タップが運営する24時間365日稼働しているサポートセンター内に設置された統合監視センターは、ホテルシステムとビル管理システム、フリートマネジメントシステム (ロボット管理システム)、監視カメラなどを統合的に扱うことで管理の効率化だけでなくホテル宿泊者やホテルスタッフへ新しいサービス提供の研究を進めております。一例として、フロントシステムの持つ宿泊者の顧客情報と、ビル管理システムの持つセンサーデータ及び家電操作機能を組み合わせることで、宿泊者個人が行うエアコンの温度設定を自動で行うように設定することが可能になります。

## SIGN LANGUAGE ROBOT

手話ロボット

タップは沖縄工業高等専門学校と新たに難聴者向けへのサービス提供として、手話を用いた接客が行えるロボットの研究開発を共同で進めております。今回はそのベースとなる手話をカメラで認識するアプリケーションを開発した学生自身が、来場者に紹介を行いました。



## INSIDE TOUR

館内ツアー

館内の各展示については、学生向け及び一般向けに館内ツアーを実施し活動内容を見学していただきました。

株式会社タップ ホスピタリティサービス工学研究所  
宮川拓  
〒135-0016 東京都江東区東陽2丁目2番4号 マニュアルプレイス東陽町1階  
TEL : 03-5683-5312 <https://www.tap-ic.co.jp/>